

学習指導要領		都立大崎高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>幅広く資料等を整理し、客観的な根拠に基づき自分で判断し、考え、発表することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題について、資料等を参考にして自分の考えを持ち、発表することができる ・客観的な視点に基づき、自分の考えを話すことができる ・自ら立てた課題について、根拠を明確に示しながら、説得力のあるスピーチをする <p>目的や場面に応じて、わかりやすく適切な言葉遣いではなしたり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ活動において、何の目的で、誰に対して話すのかを考え、適切な言葉を選択して話すことができる <p>相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、司会や提案者の役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議において、相手と自分の考えの共通点や相違点をふまえ、相手の思考の論拠を理解することができる ・司会や提案者を立てて、状況に応じて話し合うことができる <p>自己評価や相互評価を通じて、自分の話し方や言葉遣いを確認し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方を理解できる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況や相手に応じて適切な語句を用いることができ、自己及び他者の論理の構成などを理解し、よい点、改善すべき点を指摘することができる

学習指導要領		都立大崎高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>誰に向かって何を何のために書くのかを理解し、題材及び文章の形式にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた題材に即して、自分が体験したことや考えたこと、身の回りのことなどから、相手や目的に応じた材料を収集することができる ・常体と敬体とを区別し、文章を書くことができ、また語句や言い回しの重複を避けることができる <p>論理の構成や文章の展開を理解し、自分の考えを論拠に基づき文章に書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約文を200字程度で書くことができる ・序論—本論—結論、起承転結、などの文の構成を意識して600～800字程度の文章を書くことができる ・事実、意見、引用を区別し、根拠を示しながら自分の考えを明確に表現することができる <p>説明や描写を使い分けるなど、相手や目的、状況に応じた適切な表現で書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを正確に説明でき、手順や理由などを論理的に説明することができる ・情景や人物、心情などを、読み手が想像しやすいように描写することができる <p>自他の文章への評価を通じて、自分の表現を高め、また自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想の豊かさや文章の構成、展開の仕方などを理解し、その文章のよい点、改善すべき点を指摘することができる

学習指導要領		都立大崎高校 学カスタンダード
<p>C 読 む こ と</p>	<p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>	<p>【現代文】 文章の形態（小説・評論・韻文など）や表現の特色を意識しながら読むことができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩法を理解し、文章中の比喩を指摘することができる ・ 文章中のキーワードを指摘することができる ・ 小説の表現や韻文のリズムを音読を通じて味わうことができる <p>【古典】 比較的短く平易な文章について、文章の違いを区別でき、表現方法や語句の使い方に注意して読むことができる 《具体的な設定例》</p> <p>「古文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的仮名遣いに注意して音読できる ・ 物語・随筆・日記・和歌などを区別できる <p>「漢文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法）などに従って音読できる ・ 詩の形態や押韻を指摘することができる <p>【現代文】 文脈をとらえ、語句や表現を理解し、筆者の考えを読み取ることや文章の要約ができる。 《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章中のキーワードを指摘することができる ・ 文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる ・ 筆者の主張と具体例を区別し、主張を中心に要約することができる <p>【古典】 比較的短く平易な文章を、基本的な文章のきまりや訓読のきまりに注意して、傍訳などを参考にしながら、読み取ることができる。</p>

学習指導要領	都立大崎高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <p>「古文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な用言・助動詞・敬語・係り結びなどを理解する <p>「漢文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点や再読文字、置き字、句法について基本事項を理解する <p>【現代文】</p> <p>登場人物の行動や心情の変化を、表現を根拠に読み取ることができる。また情景描写から心情を読み取ることができる</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『羅生門』、『城の崎にて』などで、各場面での登場人物の言動と心情を読み取ることができる ・比喩表現などから状況や心情をとらえることができる <p>【古典】</p> <p>比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰が、何を、どうした、その理由はなどを読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>「古文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』や『竹取物語』で、登場人物（誰と誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる ・作者または主人公の心情を理解する <p>「漢文」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『虎の威を借る』などで、登場人物（誰と誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる ・作者または主人公の心情を理解する <p>さまざまな文章の構成や展開を理解し、文章の内容や表現の仕方について考察したり、書き手の主張をとらえることができる。</p>

学習指導要領	都立大崎高校 学カスタンダード
<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各段落の働きを理解し「序論・本論・結論」「起承転結」などの文章の組み立てを指摘することができる ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえて説明できる ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を指摘することができる ・書き手の主張や意図を読み取ることができる <p>さまざまな形態・内容・分野の本や文章を読みそこから得た情報を理解し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな形態（文学的な文章、論理的な文章、実用的な文章など）や幅広い内容、分野（芸術・社会学・自然科学など）の本や文章を読むことができる 読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる ・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる ・新書を読む習慣を身に着け、自分の興味のある分野に関する知識を深める ・ビブリオバトルの活動を通し、要旨をまとめる力、伝える力、評価する力などを伸ばし、読書活動の幅を広げる

学習指導要領		都立大崎高校 学カスタンダード
<p>D 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を理解し、また外国の文化の影響に気づくことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の習慣を学び、百人一首の大意や作者の心情をつかむことで興味関心を高める ・基本的な古典知識（月の異名・十二支・古時刻・古方位・年中行事など）を認識する ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を理解する <p>基本的な文語の規則、訓読の規則を理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用（「活用表が完成できる」など）、基本的な助動詞（「ず」「き」「けり」など）、係り結び、敬語などを理解する ・訓点や基本的な再読文字・置き字・句法について理解し、訓読したり、書き下し文にしたりすることができる <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みについて理解し、社会における言語の役割について理解し活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和語、漢語、外来語の区別ができ、効果の違いを理解できる ・主語・述語、修飾・被修飾の関係が理解できる。 ・言語の機能（認識・伝達・思考・想像など）を理解する <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な仮名遣いを理解して古文・漢文を正確に読むことができる

学習指導要領	都立大崎高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>・基本的な古今異義語（うつくし・をかし・おどろくなど）の現代との意味の違いを理解する</p> <p>【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を理解し、活用することができる。 ≪具体的な設定例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の成分を理解し、照応関係に注意して文章を書くことができる ・文章の段落構成を理解し、それを意識して文章を書くことができる ・さまざまな文章について、語句の意味・用法を理解し、適切に用いることができる ・評論的な文章に使用される語句のうち基本的な語彙（客観、主観、理性、感性、普遍、他者、アイデンティティ、イデオロギー、メディアなど）の意味を理解する <p>【古典】 古語辞典や漢和辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。 ≪具体的な設定例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語集に掲載された基本的な古語（あそぶ、いらふ、やがて、あさましなど）50～60語程度の意味を理解する ・教科書に取り上げられている基本的な漢語（不、使、也、欲、乃、耳、如何）など30語程度の意味を理解する <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006字を含む1300字程度を書くことができ、文や文章のなかで使うことができる。 ≪具体的な設定例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字のテキストを用いた学習を習慣化し、文章の中で使えるようにする